

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2020 年 第 8 週（2月17日~2月23日）図は次ページ以降に掲載

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	1 人 類型 患者、年齢階級 10 歳未満 推定感染地域 国内
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2 人 類型 患者 2 人、血清型 O157 1 人、O26 1 人
四類感染症 A 型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人 血清群 B 群
侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
水痘（入院例）	1 人 病型 検査診断例
梅毒	2 人 病型 無症状病原体保有者 2 人
百日咳	7 人 年齢階級 1 歳未満 1 人、6 歳 1 人、10 歳代 1 人、 30 歳代 2 人、40 歳代 1 人、60 歳代 1 人
風しん	1 人 病型 検査診断例

<定点把握対象疾患の患者情報>

小児科及び内科定点報告のインフルエンザ(8.19 6.99：図 1-3)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに減少した。保健所別では、前週に引き続き草加(13.43)、加須(11.90)、狭山(10.61)保健所管内からの報告が多い。他の小児科定点報告疾患では、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(3.72 4.11：図 4)の定点当たり報告数は、前週よりわずかに増加した。保健所別では、南部(7.40)、越谷市(6.63)保健所管内からの報告が多く、熊谷(3.63 6.13)保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では、5 歳が最も多い。水痘(0.58 0.46)の定点当たり報告数は前週と同水準にとどまった。保健所別では、川越市(1.75)、春日部(1.17)、朝霞(1.00)保健所管内からの報告が多い。

眼科定点報告疾患では、流行性角結膜炎 26 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、マイコプラズマ肺炎 3 人、インフルエンザ（入院）4 人の報告があった。

- この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325
FAX: 0493-59-9613 e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp まで御連絡ください。
- 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/nid/ja/from-idsch.html>) で御覧になれます。

<インフルエンザ流行情報（第8週）>

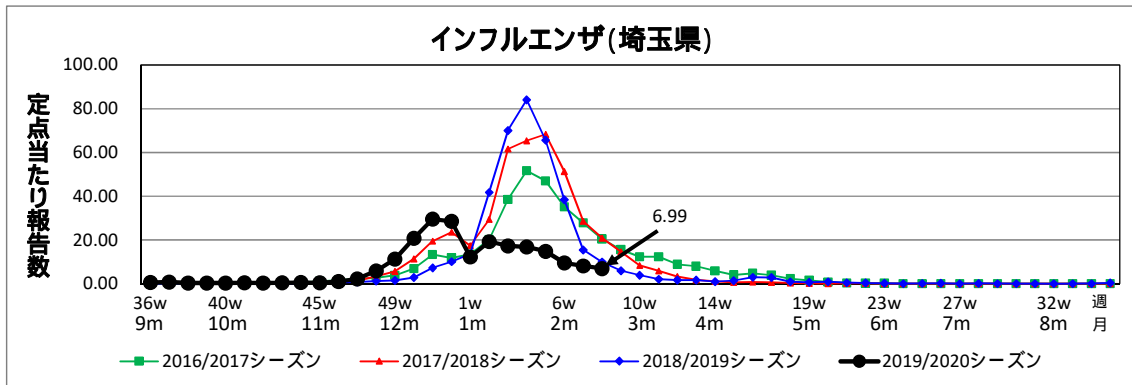


図1 定点点あたり報告数の推移 小児科定点・内科定点からの報告

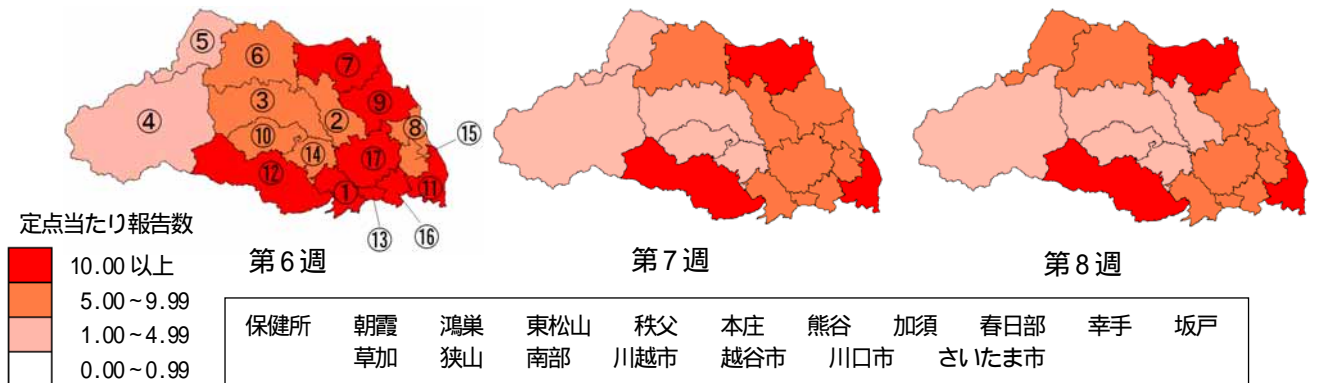


図2 保健所別流行状況の推移（第6週～第8週） 小児科定点・内科定点からの報告

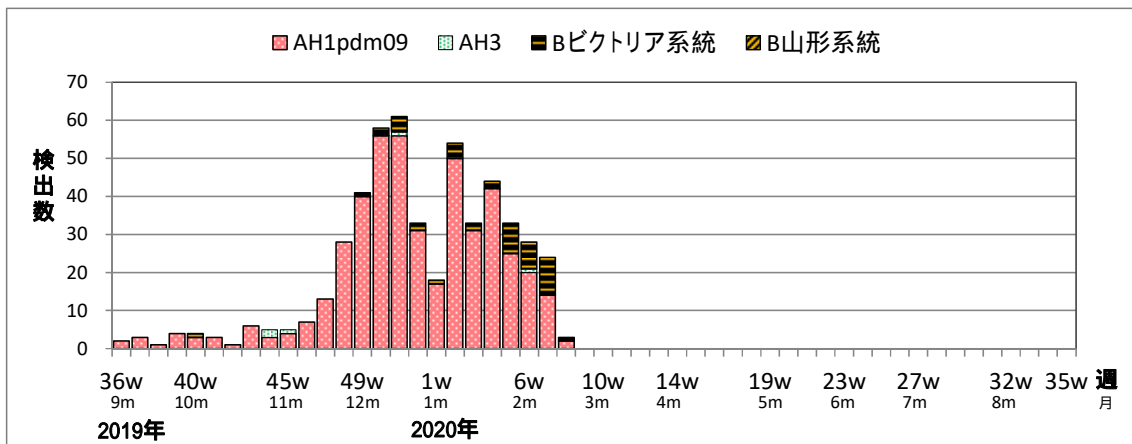
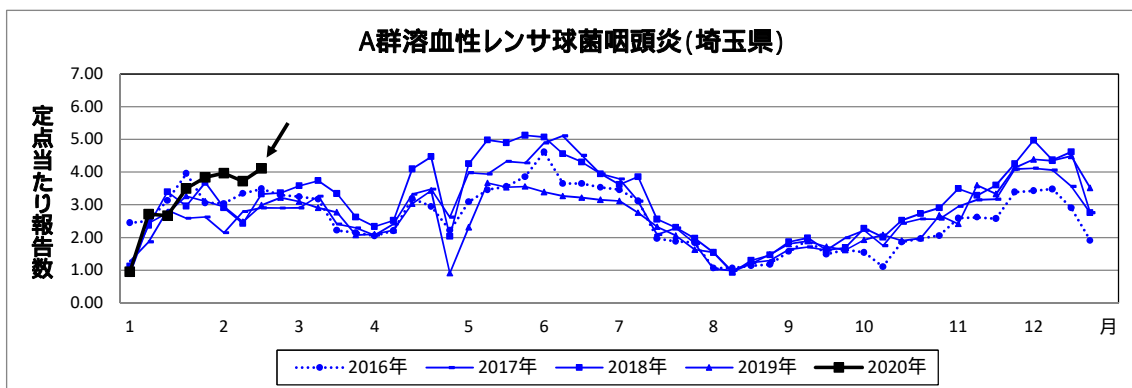


図3 AH1pdm09、AH3、B（ビクトリア系統、山形系統）の週別検出数

詳細なウイルスの検出状況は <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第8週)

(2020年2月25日 15:00集計)

	今週 届出	累計	2019年 累計		今週 届出	累計	2019年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*1	-	-	1244	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			1
細菌性赤痢		5	6	パラチフス			4
腸管出血性大腸菌感染症	2	5	152				
四類感染症							
E型肝炎		8	21	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎	1	2	14	ニパウイルス感染症			
エキノкокクス症				日本紅斑熱			1
黄熱				日本脳炎			
オウム病				ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサヌル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ボツリヌス症			1
ジカウイルス感染症				マラリア			2
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			1
チクングニア熱			3	レジオネラ症		9	117
つつが虫病			1	レプトスピラ症			1
デング熱		1	16	ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢		5	36	侵襲性肺炎球菌感染症	1	19	137
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	5	5	水痘(入院例に限る)	1	6	17
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7	90	90	先天性風しん症候群			1
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			4	梅毒	2	11	205
急性脳炎		12	59	播種性クリプトコックス症		1	9
クリプトスポリジウム症				破傷風			4
クロイツフェルト・ヤコブ病			8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	8	30	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			2
後天性免疫不全症候群		2	46	百日咳	7	44	704
ジアルジア症				風しん	1	2	198
侵襲性インフルエンザ菌感染症	4	17	17	麻しん			35
侵襲性髄膜炎菌感染症	1			薬剤耐性アシネトバクター感染症			1
指定感染症	新型コロナウイルス感染症*2				1	1	

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

*2 新型コロナウイルスに関連したチャーター便に係わる帰国邦人等、及び横浜港での検疫中のクルーズ船内で確認された新型コロナウイルス感染症については、集計から除外しています。なお、記者発表資料等については、県ホームページ「新型コロナウイルスに関連した肺炎について」(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/shingatacoronavirus.html>)を参照してください。

保健所	感染症発生動向調査 週情報										保健所別 (2020年第8週 2月17日~2月23日)									
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ(入院)	
全	1,726	49	48	646	1,173	73	24	29	45	-	8	-	26	-	-	3	-	-	4	
県	6.99	0.31	0.31	4.11	7.47	0.46	0.15	0.18	0.29	-	0.05	-	0.63	-	-	0.27	-	-	0.36	
朝	175	-	9	64	115	14	4	2	3	-	1	-	4	-	-	-	-	-	1	
朝	7.95	-	0.64	4.57	8.21	1.00	0.29	0.14	0.21	-	0.07	-	1.00	-	-	-	-	-	1.00	
鴻	69	6	4	47	57	2	-	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
鴻	3.63	0.50	0.33	3.92	4.75	0.17	-	0.25	0.17	-	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	
東	15	1	-	24	45	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
東	1.88	0.20	-	4.80	9.00	0.20	-	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	
秩	24	-	-	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秩	4.80	-	-	1.33	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本	41	-	-	6	7	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
本	5.86	-	-	1.50	1.75	0.75	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊	82	8	-	49	100	5	11	-	1	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-	
熊	6.31	1.00	-	6.13	12.50	0.63	1.38	-	0.13	-	0.13	-	5.00	-	-	-	-	-	-	
加	119	1	-	3	4	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
加	11.90	0.17	-	0.50	0.67	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
春	78	-	3	30	56	7	-	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
春	7.80	-	0.50	5.00	9.33	1.17	-	0.50	0.33	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	
幸	92	5	11	34	38	1	-	5	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
幸	6.57	0.56	1.22	3.78	4.22	0.11	-	0.56	0.11	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	
坂	23	4	-	21	48	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
坂	2.30	0.67	-	3.50	8.00	0.50	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草	188	2	2	49	75	4	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草	13.43	0.22	0.22	5.44	8.33	0.44	-	0.11	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
狭	244	3	4	47	97	5	1	4	3	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	
狭	10.61	0.19	0.25	2.94	6.06	0.31	0.06	0.25	0.19	-	0.13	-	0.80	-	-	-	-	-	-	
南	41	3	1	37	46	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
南	5.13	0.60	0.20	7.40	9.20	-	-	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
川	38	-	-	41	45	14	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
川	2.92	-	-	5.13	5.63	1.75	-	0.38	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
越	121	-	6	53	13	4	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
越	9.31	-	0.75	6.63	1.63	0.50	-	0.63	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	
川	111	6	5	75	217	4	3	-	5	-	1	-	3	-	-	1	-	-	2	
川	5.55	0.46	0.38	5.77	16.69	0.31	0.23	-	0.38	-	0.08	-	0.75	-	1.00	-	-	-	2.00	
さい	265	10	3	62	207	6	5	4	13	-	-	-	4	-	-	1	-	-	1	
さい	6.97	0.40	0.12	2.48	8.28	0.24	0.20	0.16	0.52	-	-	-	0.50	-	1.00	-	-	-	1.00	

(- : 0.00) # 1 鳥インフルエンザを除く # 2 真菌性を含む # 3 オウム病を除く 2月 25日 17:00 集計

感染症発生動向調査週情報 報告患者数 年齢別 (2020年第8週 2月17日～2月23日)

	合計																															
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上												
インフルエンザ #1	1,726	6	8	46	32	70	76	113	131	203	183	169	434	50	33	67	51	16	13	17	8											
	合計												-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳						
RSウイルス感染症	49	9	10	19	6	3	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
咽頭結膜熱	48	-	-	12	5	7	6	2	4	1	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	646	-	-	10	30	50	80	98	79	62	63	48	78	9	39	-	-	-	-	-	-	-										
感染性胃腸炎	1,173	3	58	127	130	107	113	90	84	75	55	39	129	22	141	-	-	-	-	-	-	-										
水痘	73	-	1	5	2	4	12	7	9	4	9	8	10	1	1	-	-	-	-	-	-	-										
手足口病	24	-	1	4	1	4	8	1	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-										
伝染性紅斑	29	-	1	-	5	2	9	4	5	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-										
突発性発しん	45	-	17	23	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
流行性耳下腺炎	8	-	-	-	-	2	-	1	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
	合計												-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-									
流行性角結膜炎	26	-	2	2	2	-	1	1	-	-	-	-	1	-	2	7	3	1	3	1	3	1										
	合計												0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上		
細菌性髄膜炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
マイコプラズマ肺炎	3	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
クラミジア肺炎 #4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										
インフルエンザ(入院)	4	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-										

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第6週 (2月3日～2月9日)

令和2年2月26日

<全国情報>

インフルエンザ: 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は北海道(12.92)、沖縄県(12.67)、群馬県(11.78)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は455例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(22例)、1～9歳(168例)、10代(33例)、20代(6例)、30代(7例)、40代(14例)、50代(16例)、60代(30例)、70代(63例)、80歳以上(96例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は和歌山県(1.07)、高知県(0.77)、山口県(0.76)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.44)、山形県(1.20)、佐賀県(1.13)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は石川県(10.52)、新潟県(7.86)、福岡県(7.05)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は香川県(14.71)、宮崎県(13.75)、鹿児島県(11.15)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.83)、熊本県(0.60)、青森県(0.55)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は熊本県(1.28)、大分県(1.06)、福井県(1.04)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(0.11)、富山県(0.10)、長野県(0.09)、沖縄県(0.09)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.30)、沖縄県(0.21)、山梨県(0.13)、高知県(0.13)である。

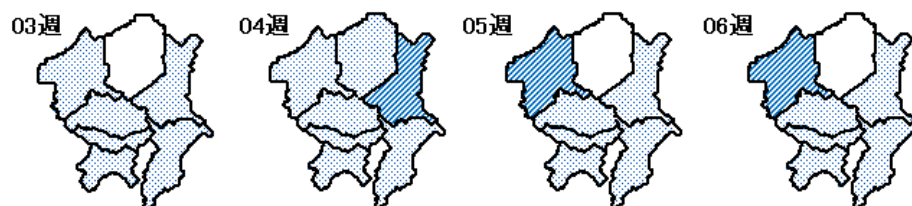
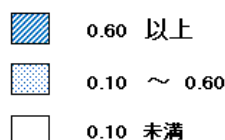
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(1.00)、沖縄県(0.86)、埼玉県(0.82)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。7道県から16例報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～4歳(9例)、5～9歳(4例)、10代(1例)、20代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2020年 第6週(2月3日～2月9日): 通巻第22巻 第6号 より

<関東情報>

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、群馬県(0.63)からの報告が多い。

咽頭結膜熱



		2020年 06週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	44,737	12,161	636	375	1,025	2,426	2,234	2,818	2,647
	定点当たり	9.04	8.03	5.30	4.93	11.78	9.51	10.54	6.89	7.44
RSウイルス感染症	報告数	1,016	222	10	21	5	56	27	49	54
	定点当たり	0.32	0.23	0.13	0.44	0.09	0.35	0.20	0.19	0.24
咽頭結膜熱	報告数	1,429	287	30	3	34	67	41	67	45
	定点当たり	0.45	0.30	0.40	0.06	0.63	0.41	0.31	0.26	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	11,252	3,635	186	117	118	643	734	940	897
	定点当たり	3.56	3.80	2.48	2.44	2.19	3.97	5.52	3.64	3.95
感染性胃腸炎	報告数	20,078	6,506	366	188	270	1,388	805	2,078	1,411
	定点当たり	6.35	6.80	4.88	3.92	5.00	8.57	6.05	8.05	6.22
水痘	報告数	1,235	425	41	18	31	81	52	111	91
	定点当たり	0.39	0.44	0.55	0.38	0.57	0.50	0.39	0.43	0.40
手足口病	報告数	459	101	5	3	6	30	11	24	22
	定点当たり	0.15	0.11	0.07	0.06	0.11	0.19	0.08	0.09	0.10
伝染性紅斑	報告数	1,255	135	19	6	17	34	21	22	16
	定点当たり	0.40	0.14	0.25	0.13	0.31	0.21	0.16	0.09	0.07
突発性発しん	報告数	902	265	14	16	15	43	43	78	56
	定点当たり	0.29	0.28	0.19	0.33	0.28	0.27	0.32	0.30	0.25
ヘルパンギーナ	報告数	72	24	1	-	1	5	2	13	2
	定点当たり	0.02	0.03	0.01	-	0.02	0.03	0.02	0.05	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	172	60	1	3	5	13	10	18	10
	定点当たり	0.05	0.06	0.01	0.06	0.09	0.08	0.08	0.07	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	286	88	7	4	7	6	11	17	36
	定点当たり	0.41	0.43	0.41	0.33	0.47	0.15	0.33	0.46	0.69
細菌性髄膜炎 #2	報告数	7	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	9	2	1	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.02	0.08	-	-	-	-	-	0.09
マイコプラズマ肺炎	報告数	137	30	4	-	5	9	6	5	1
	定点当たり	0.29	0.37	0.33	-	0.56	0.82	0.75	0.21	0.09
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	16	1	-	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.03	0.01	-	-	-	0.09	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 県政情報・統計 > 県概要 > 組織案内 > 保健医療部 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2020年 > 感染症の流行状況 2020年 第8週

感染症発生動向調査 2020年

- [感染症の流行状況 2020年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2020年 第7週](#)

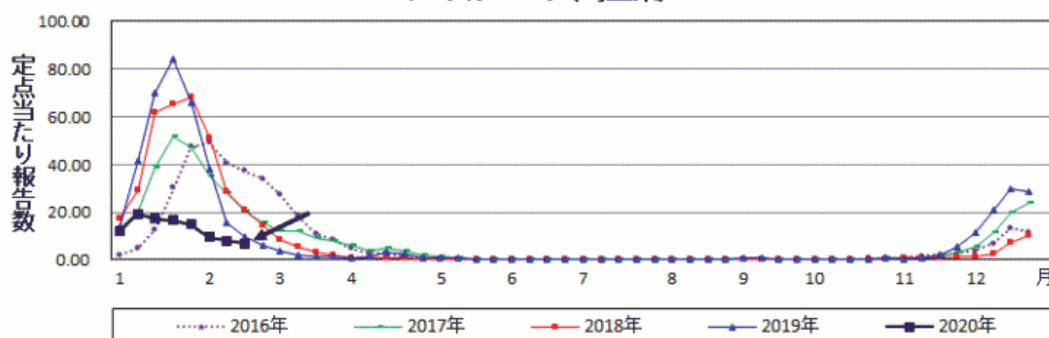
感染症の流行状況 2020年 第8週

2020年第8週（2月17日～2月23日）の要点 令和2年2月26日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週よりわずかに減少しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹及び風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

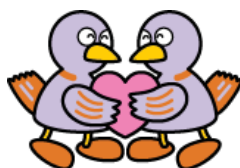
疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↓	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	→	★	流行性角結膜炎	→	★
手足口病	→	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン